

[okazaki\_149]

活動タイトル	令和 5 年度 (2023 年度) エコスクール・地球環境モニタリングステーション見学会
実施日	令和 5 年 (2023 年) 7 月 3 日 (月) 8:40~12:00
場所	根室市立落石小学校
対象数	120名
内容	<p>「エコスクール・地球環境モニタリングステーション見学会」は、毎年、根室振興局が、海星小学校と落石小学校の5年生・6年生を対象として開催しているものです。</p> <p>最初に、両校の5年生と6年生を対象に、約30分間、地球温暖化やゼロカーボンについての理解を深めることを目的に、お話をしました。</p> <p>具体的には、気象庁の「世界の異常気象 (年ごと)」のページにある、2007年-2022年までの地図を使って、スライドショー的に、世界の状況を見て、気づいた事を発表してもらいました。この地図は、高温が赤、低温が水色、多雨が緑、少雨が青、気象災害は、ビックリマークで表されています。赤いところが多いとか、いろいろな場所で、異常気象が起きていることなどを、直感的に理解できるのではないかと思います、使用しました。それぞれのスライドは2秒と短いのですが、予想以上に、皆がしっかり見ていたことが、感想からわかり、びっくりしました。</p> <p>(参照) 世界の年ごとの異常気象 (2022年)、地図は2007年まで遡れます。↓ <a href="https://www.data.jma.go.jp/gmd/cpd/monitor/annual/annual_2022.html">https://www.data.jma.go.jp/gmd/cpd/monitor/annual/annual_2022.html</a></p> <p>次に、地球温暖化のしくみを伝え、ゼロカーボン北海道について簡単に触れた後、石狩振興局が作成した子ども向けの「ゼロカーボン北海道チャレンジプロジェクト」のシートを配布し、各項目について、順番に読んでもらいながら、できそうなことにチェックを入れてもらい、1コマ目を終了しました。</p> <p>石狩振興局作成の「ゼロカーボン北海道チャレンジプロジェクト」 <a href="https://www.ishikari.pref.hokkaido.lg.jp/fs/8/5/8/7/4/5/7/_/">https://www.ishikari.pref.hokkaido.lg.jp/fs/8/5/8/7/4/5/7/_/</a> 【印刷イメージ】ゼロカーボン北海道チャレンジプロジェクト.pdf</p> <p>その後、5年生は、落石岬にある地球環境モニタリングステーションの見学に向かいました。私は、残った6年生を対象に、2コマ目として、ゼロカーボン北海道を達成するためのヒントとして、「二酸化炭素の排出を削減する」「二酸化炭素を吸収する」ことについて、話をしました。</p> <p>具体的には、削減のヒントとして、白熱電球や電球型蛍光灯、LED電球の3種類の照明と、ドライヤー、テレビの消費電力の比較を行いました。テレビに関しては、明るさの違いによる消費電力の違いや、学校の電子オルガンの音の大きさによる消費電力の違いを確認しました。また、吸収のヒントとして、植物が二酸化炭素を吸収する仕組みと、ブルーカーボンについて、簡単に説明しました。</p> <p>最後に、それぞれが行おうと思うゼロカーボンチャレンジについて、シートに記載し、皆で共有しました。</p> <p>3コマ目は、根室振興局の職員の方が、ゼロカーボン北海道について、根室振興局の取り組みや、釧路総合振興局が作成した子ども向けの動画の紹介などを行われました。</p>

### <感想と課題>

導入として、地球温暖化が根室にも影響を及ぼすことをイメージできるように、根室の魅力を話してもらうようにしたのですが、発問がうまくできなかつたため、発表に予想以上に時間がかかり、その後の展開が駆け足になってしまいました。また、児童からは、地球温暖化が将来的に影響を及ぼしそうな根室の魅力（自然環境や特産品）がいろいろ出たのに、それをきちんとフォローしたまとめができなかつたことも反省点です。

今回は、主催の根室振興局の方に、小学校へのヒアリングをしていただきましたが、小学校の場合は、実際に打合せをして、学習内容や児童の様子についてのヒアリングを行うことが重要だということを感じました。主催と実施先が異なる場合、また実施先が遠距離の場合、そのあたりをどうするかが課題だと感じました。

### 実施写真等

